

七中校区

小中一貫・連携教育だより

第七中学校
郡築小学校
昭和小学校

H26年10月

(愛称募集中)

八代型小中一貫・連携教育

～平成27年度市内全中学校区完全導入～

八代市では、「八代の未来を担うひとづくり」という教育理念のもと、確かな学力・豊かな心・健やかな体などの「生きる力」をはぐくむために、学校や地域が連携し、特色ある学校教育に取り組むことを目標として、小中一貫・連携教育を推進しています。七中校区は、昨年度第三期モデル地区に指定され、来年度の完全導入に向け、準備を進めています。

期待する教育効果

①小中学校教職員の持つ専門性やきめ細かな指導など、互いの良さを生かした指導を通して、「**学びと育ちの連続性**」を図ることができます。**学力及びコミュニケーション能力、規範意識・自己有用感の向上**



②小中学校教職員の連携により、より深い児童生徒理解に基づく指導が可能になり、中学校進学に対する不安の解消や進学への期待のふくらみで、「**中一ギャップ**」を解消することができます。**不登校や問題行動等の生徒指導上の諸問題の減少**

③小中学校教職員が、児童生徒の発達段階及びそれぞれの校種の特色を踏まえた上で指導にあたることにより、「**教職員の指導力の向上**」を図ることができます。**教職員の意識改革、地域の教育力の向上**

音楽会

夏休みに小・中・特別支援学校音楽会がありました。昭和小学校からは2・3年生が出場しました。6月から練習を始め、中学校の音楽の沖村先生が指導に来て下さり、当日の伴奏も引き受けてくださいました。「沖村先生が教えてくれたので、上手に歌ったり演奏したりできるようになりました。」と子どもたちも自分たちの成長していく姿に大喜びでした。



七中校区健康教室

「スマホやゲームで体は強くならない。脳は働いていない。家族との会話がなくなる。夜眠れなくなったりもする。」

8月21日(木)に第22回七中校区健康教室が開かれました。今年にはNPO法人子どもとメディアの黒田可奈子先生をお招きし、「メディアとの上手なつきあい方」という演題で、スマートホンなどのメディアの便利で楽しい面と恐ろしい面を、具体的なデータをもとに分かりやすくお話していただきました。

「母がたくさん使うので、今日の話をして注意したいと思います。」(小学生)「ネット依存症にならないよう気をつけたい。」「きちんとルールを守り親に迷惑をかけないようにしたい。」「ゲームしている時は脳が働かないことが分かった。」(中学生)

保育園の先生も参加され、保幼・小・中の連携のもと、七中校区の子どもたちの健康を守っていくことを再確認できた、有意義な講演会でした。



小中合同研修会

健康教室の後、3校の先生方が3つの部会【学力充実・健康教育・生徒指導】ごとに集まり、今後どのように連携していくか、協議しました。



これからも、先生をつなぐ・子どもをつなぐ・地域をつなぐ取組を実施していきます。地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。

